

令和4年度協会支援事業助成団体・活動紹介（ボランティア活動支援事業事業）

● ときめき倶楽部（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

春には、花壇掃除、花壇の植え込み、そして、メンテメンスを行いました。秋には、球根の植え込み、花壇の片付け、そして落ち葉掃除を行いました。

活動を通して、通行人や斗南病院を訪れる方々から花壇のお花から元気をもらえると皆さんに喜んでいただけたことは非常に嬉しいことです。来年度も続けていきたいと考えております。



● NPO 定山溪自然倶楽部（札幌市）

- ・定山溪内散策路「二見・定山の道」の清掃・整備、倒木の片付け

定山溪地域の「二見・定山の道」散策路について、清掃、整備、倒木の片付けなどの保全活動を実施しました。

山野草の発芽と成長を促すために、8月から11月にかけて、ハサミや刈り払い機を使用した笹刈り作業を3日間行い、散策路の保全活動として、のこぎりやチェーンソーでの枝切り、倒木の撤去なども実施しました。

また、散策路周辺のゴミ拾いなどの清掃活動も随時行い、環境美化に努めました。



- ・ファミリー向け自然ふれあいイベントの実施

小学生を含む家族向けの自然ふれあい遊びイベント「自然遊びディ」を企画し、2022年6月4日に実施しました。参加者は、大人7名、子ども9名を含む6家族16名で、定山溪園地の河原や森で遊びながら、自然と親しみ、自然の驚異や生きものの営みについて学ぶことができました。

● 療養・介護・看取り研究会（道央圏・江別市）

事業の実施概要・活動成果

北海道大学医療大学の竹生礼子教授を招聘し、市民を対象に「在宅看取り基礎知識」について6回にわたり講座を開催しました。

多くの方が「人の世話になりたくない」「人に迷惑をかけたくない」と考えがちですが、生きる上で、死ぬ時には誰かに世話にならなければなりません。

この講座で高齢者にも、高齢者を支える家族にも、迷惑ではなく大きな満足感をもたらす意識を持つことが、将来の居住環境でその人らしく尊厳を持って生きる社会と繋がることを学びました。



人々が相手の話を聞かなくなっている社会になりつつあります。

私たちは傾聴の重要性を実感し、実技を通じて自己理解を深め、日々の訓練を通して技能を磨くことを考えています。優しく暖かいコミュニケーションを行うことを願い、各自が気づき、そして暖かい人間関係を広げることを学び、行動に移すことにします。

● めざせ合格 JLPT さくらの会（道央圏・江別市）

事業の実施概要・活動成果

外国人の方々に、週末以外は遅くまで働いているため、日本語教室に通うことができず、さらに住んでいる地域が郊外であるため教室が近くに存在しない方々に向けて、オンライン日本語教室を開催いたしました。

このオンライン日本語教室では、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、直接会わない方法を採用し、Zoom等のオンラインツールを利用しました。また、受講者と先生の1対1の授業を実施し、お互いに都合の良い日時を調整可能としました。さらに、Zoomを利用したチャットルームを開設し、複数の外国人の方々が気軽に会話を楽しめる環境を整えました。

個人授業では、担当した先生が購入したテキストを活用し、外国人の日本語レベルや要望に応じた授業を実施いたしました。また、無料のチャットルームでは、会話を中心にしたトピックスを提供し、必要に応じてテキストを使用しました。このように、個人授業を受けることができない方々にも、気軽に日本語に触れる機会を提供し、参加していただくことができました。

● 塩谷地区子どものすこやか成長を願う会（道央圏 小樽市）

事業の実施概要・活動成果

委員長の挨拶により開会が宣言され、塩谷小学校の高学年が伊藤整作詞の校歌を斉唱しました。

開催前日には30人の生徒が雪玉キャンドル制作に参加し、スタッフと協力して素敵なスノーキャンドルが完成しました。小学生のアイデアで可愛いミニ雪だるまも作成され、来場者に好評でした。

白樺林ではハート型のオブジェや7段のアイスキャンドルピラミッドが積み上げられ、来場者が楽しんでいました。2年間中止されていた「塩谷桃内雪あかりの路」も小学生の協力や新しいアイデアにより復活し、以前よりも多くの来場者やカメラマンが訪れ、会場の広さやオブジェに対して賞賛の声がありました。私たちはこの成功により大いにやりがいを感じ、感謝しています。



● 小樽市ひとり親と寡婦の会（道央圏 小樽市）

事業の実施概要・活動成果

当会は、おさがり交換会を中心に多数のキッチンカーと出店を募集し、ひとり親や小樽市の子育て世帯を楽しませるイベントを企画しました。雨模様の中でも、室内をメインとする会場には300人以上の来場者がありました。おさがり交換会では、持ち込みと交換の双方が行われ、子供の服を有効活用できることが好評でした。子供たちは自分の服が選ばれる様子に大いに喜びました。初めての出店経験者としてひとり親も参加し、多くの来客により実践の機会と自信を得ることができました。キッチンカーや移動本屋、おもちゃ屋、巨大迷路、トランポリン、雑貨、お菓子、お惣菜、アロマテラピー、占いなど、様々な出店があり、子供たちだけでなく保護者も多彩な体験を楽しむことができました。初めての試みでしたが、幅広い方面からの支援と協力により、参加者の満足度の高い結果となりました。



● 小樽市桂岡町内会 防犯パトロール隊（道央圏 小樽市）

● 事業の実施概要・活動成果

青色回転灯を装着した自主防犯パトロールにより、地域の見守りを行い、防犯抑止力を高め、安心・安全なまちづくりを推進します。同時に、町会や他の部門との協力を図り、架空請求に遭わないための講座などの啓発活動も実施します。これらの活動成果は、銭函中学校区運営協議会（コミュニティスクール）で実施可能な取り組みとして取り上げられ、児童生徒の安全・安心を見守る取り組みから地域防犯活動を展開します。



● 親子ひろばるんるん（道央圏 小樽市）

● 事業の実施概要・活動成果

私たちは子どもと地域社会のつながりを大切にし、子育て中の親子に安心して楽しめる広場を提供しています。令和4年度は参加人数制限下でも毎月2回の開催を続け、令和5年1月からの緩和でより多くの親子が参加できるようになりました。参加者からは喜びの声が寄せられ、「こんな場所が欲しかった」「ゆっくりできて楽しい」「ずっと探していた遊び場」と言われました。広報にはチラシやポスター、口コミ、SNS を活用し、参加親子の数も増えました。親子たちは広場でリラックスしながら遊び、初対面の親子同士も交流し、楽しんでいます。



● ビストロこんにち輪（道央圏 小樽市）

● 事業の実施概要・活動成果

令和3年6月から令和4年12月まで、毎月第1水曜日に小樽市中心部商店街の「サンモール一番街」にある「酒商たかの」2階でお弁当の作成と販売を行いました。お弁当は手作りで、彩りと栄養バランスに配慮し、大人でも満足できる分量を心がけました。毎回評判が良く、月に一度食事作りを休んで子ども達とゆっくり過ごすことができるという声も寄せられました。近隣の商店からも多くの食材寄付をいただきました。地域の子どものために貢献できたことに喜びの声があり、当団体の目標である地域、焦点、家庭のつながりにも成果があったと考えています。



● 陽だまりの会（道央圏 倶知安町）

事業の実施概要・活動成果

陽だまりの会は、不登校の親の会として、親の活動と子どもの居場所作りに取り組んでいます。今年度は、一般市民向けの啓発事業として2回の自主上映を実施しました。2つのドキュメンタリー映画から子どもたちが人生を切り拓くヒントを得ることができ、教育問題に関心を持つ人々とのつながりを築くことができました。



陽だまりの会の活動を通じて、不登校の親が元気に笑顔を取り戻すことが子どもにとって非常に重要であると考えています。明るい家庭の雰囲気の変化により、今年度は学校に復帰した子どもや自分の進学先を見つけた子どもなど、多くの成長が見られました。

また、陽だまりの会の活動は町議会、教育委員会、町長の理解も得られ、次年度は町の不登校支援が進む道筋も見えてきました。多くの方々の支えに感謝し、今後もボランティア団体として子どもたちがワクワクする未来を実現するために活動していきます。

● サロン送迎団体（道央圏 泊村）

事業の実施概要・活動成果

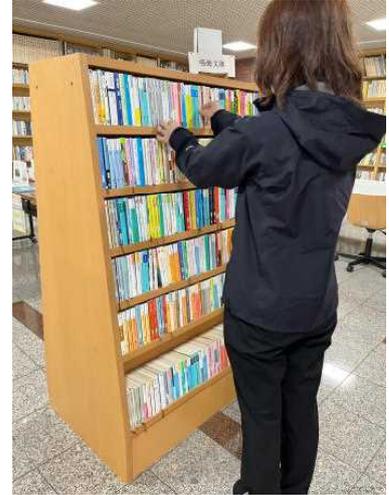
サロン活動中に移動が難しい会員約15名に対して、送迎サービスを提供しています。このサービスは無償で行われ、利用者の安全や健康管理に配慮し、2名のボランティアが担当しています。令和4年から令和5年3月まで、30名以上の会員を対象に送迎サービスを3名のボランティアが実施しました。会員からは「送迎サービスがなければ解散しなければいけないので助かっています」「ボランティアさんが乗降時に支えてくれるので安心して車に乗っています」という感謝の声が多く寄せられました。



● ひまわり会（道央圏 泊村）

事業の実施概要・活動成果

「健康増進」を目的としたサロン団体を老人クラブの活動とは別に設立し、10名の会員で活動しています。毎月2回程度の活動で、主に介護予防のための体操や塗り絵などに取り組んでいます。また、ボランティア活動の一環として泊村小学校の図書室の本棚整理を行い、児童が過ごしやすい環境を整備しました。児童の読む力の向上に貢献することができました。



● 「お話ししましょ。」オレンジの会（道央圏 夕張市）

事業の実施概要・活動成果

認知症カフェ（オレンジカフェ）は予定されていた8回のうち、5回を実施しました。参加者数は以下の通りです。

8月25日（15人）、9月30日（12人）、10月20日（15人）、11月24日（16人）、12月22日（23人）。

新型コロナウイルス感染者の発生により、1月から3月上旬までの開催は中止されました。市内の感染拡大や予防対策により、多くの会員が活動制限をしています。参加者からは認知症への理解が深まったとの感想が多く寄せられており、認知症カフェへの参加ハードルが下がっていると考えられます。健康な高齢者も自身の物忘れを客観的に捉えることができるようになっていきます。



● 一般社団法人 清水沢プロジェクト（道央圏 夕張市）

事業の実施概要・活動成果

2011年以来、私たちは清水沢ズリ山の整備事業に自主的に取り組んでいます。この事業は行政ではなく市内外の有志が関与しており、現在では夕張市で最も注目される観光スポットとなっています。今年の活動では、5月29日に防腐剤の塗布、階段の取り替え、杭の打ち直し、排水路の確保、椅子の補修、草刈りなどの作業を実施しました。さらに、7月3日には清栄町さつき町内会のメンバーと協力して草刈り作業を行いました。



● 岩見沢スキーパトロール奉仕団（道央圏 岩見沢市）

事業の実施概要・活動成果

毎月、役員会が開催され、約12名前後が参加しました。また、シーズン前の室内研修会では19名が参加しました。

スキーシーズン中には2つのスキー場でパトロール活動が行い、総計86日間で延べ868人日の活動がありました。この間、32件の傷病者が発生し、救助活動や応急手当、通報、連絡などが行いました。

さらに、パトロール講習会や研修会も開催され、

2月12日および18日から19日にかけて行いました。3名の講師と4名の支援者が参加し、今年度は3名が受験して全員が合格しました。

また、市民スキー大会や NJ カップ救護員支援など、様々な大会で支援活動が行いました。



● 砂川市インバウンド受入協議会（道央圏 砂川市）

事業の実施概要・活動成果

同年代の異国の学生とオンライン交流を通じて、台湾や他のアジアの国々に興味を持つきっかけを作り、語学やコミュニケーションの重要性を学びました。さらに、互いの共通点や相違点を実感しながら視野を広げ、国際感覚を身につけることを目指し、事業を構築しました。アンケート結果から、目的をほぼ達成できたと考えています。



● 室蘭市ボランティア連絡会（道央圏 室蘭市）

事業の実施概要・活動成果

今年度、東むろらんハートサロンを7回開催し、121人が参加しました。会話やレクリエーション、ゲームなどを通じて地域住民とボランティアの交流を深めました。

はつらつ福祉ボランティア講座では10回の入門講座を開催しました。94人が参加し市民のボランティア意識向上と新たなボランティア育成に貢献しました。

また、はつらつ福祉ボランティア出張教室では12回の体験教室を開催しました。530人が参加しボランティア活動への参加を促進しました。

ボランティア研修会では講演会を開催し、61人に有益な情報を提供しました。

エコ収集事業では725kgのリングプルを収集し、地域のエコ意識を高めるとともに車いすの提供に貢献しました。

ボランティア情報発信ではYouTubeで紹介動画を配信し、インターネットを通じて活動内容を広く周知。また、ボランティアセンターの機関誌の発送作業に参加し、発送協力ボランティアと交流を深めました。



● Be Smile cup 実行委員会（道央圏 登別市）

事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルス感染症の拡大により、子どもたちは制約や我慢を強いられていました。特に卒業生は、学校生活最後の1年でも多くの思い出づくりの機会を奪われました。

今年9月25日に初開催された「2022BeSmilecup（ピースマイルカップ）」は、コロナ禍でも子どもたちに笑顔と元気を与えることを目指し、少年サッカー選手の自主性を重視し、試合を楽しむことに焦点を当てました。

参加した選手、指導者、保護者、大会関係者全員が笑顔でプレー、コーチング、応援、運営を行い、笑顔に満ちたサッカー大会となりました。

この事業では、サッカーを通じて未来を担う子どもたちの育成を推進し、地域の大人たちが結集して感染防止対策を徹底し、安全かつ安心な大会を運営できました。

今後は、今年度の成果を踏まえて、引き続き大人たちが子どもたちに笑顔を届けることの重要性を認識し、来年度以降の実施計画を進める予定です。



● 特定非営利活動法人 ゆめみーる（道央圏 登別市）

事業概要・活動成果

コロナ禍において、3密を避ける必要がある中で、高齢者や弱者への配食は中止できない状況でした。そのため、コロナ対策を徹底して実施しました。食堂は一時的に休業しましたが、配食は一日も休まず続けるために、対面を避けながら見守りと支援を行い、トラブルもなく実施することができました。



● 特定非営利活動法人 HAPPY NEW EARTH（道央圏 壮瞥町）

事業概要・活動成果

2021年には、厚別川河川敷（白石区流通センター）、塩谷海水浴場、銭函工業地帯、アルトリ岬、おたるドリームビーチ、銭函海水浴場、ススキノ、洞爺湖畔で合計265名の参加者がゴミ拾い活動を行いました。この活動により、932kgのゴミが回収され、初めてゴミ拾いを経験した人々が増えました。参加者は自分の住む街でもゴミ拾いに積極的に取り組むようになり、「日常を絶景に」する取り組みが広まりました。



● 白老ふれあい食堂"ウタル"（道央圏 白老町）

事業概要・活動成果

コロナ禍において、楽しい会食が制約されたため、子供たちへのお弁当配布を実施することとなりました。

栄養価の高いお弁当を提供するため、スタッフ一同が努力しました。

その結果、多くの子供たちが喜んで食事を楽しんでいただきました。さらに、午後の学習会にも参加し、楽しい時間を過ごしていただきました。

中には高校卒業後に大企業へ就職した子供が最後の日に挨拶に来て、長い間のお世話に感謝の気持ちを述べてくれました。

私たちは喜びで涙が出るほど感動しました。これからもさらに多くの子供たちをサポートし、成長を支えるために全力を尽くしてまいります。



● 白老手打ちそばの会（道央圏 白老町）

事業概要・活動成果

令和4年度のボランティア活動では、6つの事業（総参加者数60名）を実施しました。

新型コロナの影響で実食ができず残念でしたが、参加者は困難を乗り越えてそば打ちを楽しんでいました。

具体的には、道具を使ったそば教室（5月14日）、白老町高齢者大学での実習（6月1日）、新そばでの初心者教室（10月15日）、虎杖浜地区町内会のそば教室（11月5日）、初心者向け年越しそば打ち教室（12月17日）、親子そば打ち教室（1月14日）が開催されました。

これにより、手打ちそばの普及と地域の活性化を促進しました。次年度では、共生型事業「交流サロン」と福祉施設「子供食堂」でもそばの提供が予定されています。



● いまいる。プロジェクト（十勝圏 音更町）

事業概要・活動成果

私たちは東日本大震災をきっかけに結成されたボランティアグループで、月に1度、子ども食堂を運営しています。地域の学童保育所と協力し、家庭環境の複雑な子どもたちが来やすい環境を提供しています。新型コロナウイルスの感染状況に応じて中止やテイクアウトに切り替えることもありましたが、できるだけ密度を下げて換気に気を配りながら、顔を見ながら楽しく食事をする場を提供するために努力しました。また、音更町の帯広大谷短期大学の学生たちも実習として参加し、指導教授と一緒に運営に携わりました。彼らのレポートを拝読し、貴重な経験の場になったと感じています。彼らが社会で活躍するための重要な経験となったことを嬉しく思います。



● 子ども食堂共栄 おとふけポッケ（十勝圏 音更町）

事業概要・活動成果

毎月第2日曜日に、地域の子供、保護者、障がい者、高齢者を対象に子供食堂を開催しています。新型コロナウイルス感染拡大のため、会食形式はできず、代わりにお弁当を配布しています。参加者は毎回約80人前後です。それにもかかわらず、2022年7月には「おとふけポッケ 2歳のお誕生日!」、12月には「クリスマス会」、1月には臼と杵を使った「みんなで餅つき!」のイベントを開催し、楽しいひと時を過ごしました。



● しんとく子ども食堂もぐもぐ（十勝圏 新得町）

事業概要・活動成果

当社では、子供食堂を開設しました。今年は毎月第2週と第4週の水曜日に夕食を提供し、お弁当の形で配布しています。

予約制を導入しており、ほぼ毎回早めに締め切る状況で、延べ820人の方々にご利用いただきました。また、夏休みと冬休みの期間には子供を対象にしたランチ弁当を合計4回提供しました。弁当には「ほっこりカード」を添え、食育の一環として取り組んでいます。さらに、クリスマスには子供たちと短時間ですがゲームを楽しんだ後、オートブルを持ち帰って家族で楽しむことができました。

地域の広報や利用者の拡大、協力者への感謝の気持ちを込めて、新得公民館のロビーで活動状況の展示も行いました。



● 子育てお助け隊 はっぴーサロン（釧路・根室圏 中標津町）

事業概要・活動成果

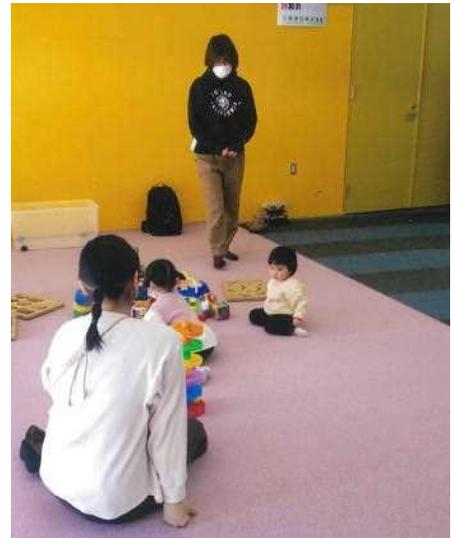
当初は月に2回程度のサロンを計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、8月と11月のサロンを中止しました。

冬季期間中はサポートネットの運営が閉鎖されることから、道立ゆめの森公園の会議室を借りてサロンを開催しました。

この変更により、土曜日と日曜日にサロンを開催することができなくなり、平日に別の仕事をしているスタッフによる絵本の読み聞かせも行えなくなりました。

しかしながら、代わりに参加者が自身の絵本を持ち込んで紹介する形式となりました。

結果として、サロンは育休後の子供の預け先や離乳食の進め方に関する悩みの共有など、母親同士が情報交換を行う貴重な場となりました。



● CAP あさひかわ（道北圏 旭川市）

事業概要・活動成果

当プログラムでは、子ども達へのワークショップを実施しました。教職員向けに人権教育のワークショップを2回、未就学児、小学生、中学生、高校生向けのワークショップもそれぞれ実施しました。

ワークショップにより、子どもたちは自己肯定感を高め、自分の権利を認識することができました。

また、参加者の積極性が2回目のワークショップで増し、先生方からは子どもたちが日常生活で「安心」「自信」「自由」と口にする姿が見られました。今後の課題として、毎年継続的にワークショップを提供し、子どもたちの成長と発達を支援し続けることが重要です。



● 鷹栖寺子屋サポート隊（道北圏 鷹栖町）

事業概要・活動成果

鷹栖町在住の小学1～6年生に対し無料の学習支援プログラムを提供しています。

子どもたちが自ら考え答えを導き出せるよう、サポート隊の大人が問題解決の考え方やヒントを教えながら寄り添ったサポートを行っています。

マンツーマンでの関わりや異学年が一つの場で学ぶことで、子どもたちは集中力を保ちながら学び合い、自己成長を促す環境を提供しています。

学習後にはレクリエーション活動も行い、参加者の楽しみも考慮しています。

今年度は夏休みと冬休みに7回の開催があり、地域のシニア世代だけでなく地元の高校のボランティア部員も協力していただきました。

延べ100人の参加者と45人のサポート隊員が関わり、合計145人が活動に参加しました。



● 「笑ってふまねっと」の会（道北圏 稚内市）

事業概要・活動成果

運動の普及啓発では、公共施設5箇所にポスターを掲示することができました。

サポーターと参加者の間で楽しい場を作ることに關しては、順調に進んでいると考えています。

ただし、荻見町内の参加者数がまだ少なく、地域のたまり場づくりにおいては課題が残っています。

活動は主に荻見地区で行われ、7月から令和5年1月まで5回行いましたが、会館のトイレ問題が発生したため、総合学習支援センターで行うことになりました。

今後は、5月から10月までは荻見町内会館、11月から4月までは総合学習支援センターでの活動を予定しています。



● 美幌子ども食堂（オホーツク圏 美幌町）

事業概要・活動成果

当法人は今年の4月5日から令和5年3月7日まで、町内3箇所で48回の子ども食堂を開催しました。

参加者は2,331人で、そのうち18歳以下の子どもは1,003人でした。ボランティアは484人、学習指導者は32人でした。子ども（18歳まで）は無料で、大人は200円の利用料を設定し、コロナ対策としてテイクアウトも可能としました。

食事の提供に加え、夏・冬休みや金曜日には学習支援も行いました。子ども食堂は地域の社会インフラであり、地域コミュニティの再構築や貧困・孤食対策に貢献しました。

今後も子どもたちの貧困や孤食、学習支援に取り組んでいきたいと考えています。



● 西興部村社会福祉協議会 地域食堂集夢（オホーツク圏 西興部村）

事業概要・活動成果

毎月1回、第4水曜日に開催しています。地域の方々に徐々に浸透し、毎回約30名の地域住民が幅広い世代で参加し、好評を得ています。

食事の提供においては、作り手の方々が美味しい食事を提供するために、自宅で何度も試作を行い、ワンコインで賄える食材を選定しています。

現在、食材の価格も高騰しているため、助成金より本当に美味しい食材を仕入れることができました。

今後はさらに利用客が増え、地域の活性化につながるよう努めていきたいと考えています。

